

第40回 滝川市環境市民委員会の開催結果について

開催日時	平成26年2月21日(金) 午後4時00分～午後4時30分
開催場所	滝川市役所5階庁議室
出席状況	<p>【委員】</p> <p>出席：石川委員長、伊藤副委員長、岩本委員、中村委員、水戸委員、山田委員 横島委員</p> <p>欠席：檜原委員、春田委員、藤本委員</p> <p>【事務局（滝川市）】</p> <p>市民生活部 樋郡部長、石川参事          // 暮らし支援課 配野課長、原田副主幹、畠山主事</p>
議事内容	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 事務局からの報告事項</b>          事務局より、1月18日（土）に開催された「平成25年度滝川市環境市民委員会」の開催報告のほか、3月1日（土）・2日（日）に行われる滝川市公民館祭りについて説明を行った。</p> <p><b>3 評価報告書の提出</b>          石川委員長から前田市長に対して、「滝川市の環境施策に関する評価報告及び提言書」が提出された。</p> <p><b>4 意見交換</b></p> <p>委員長）今年から環境市民委員会の委員長を務めさせていただき、滝川市の取組について知る良いきっかけになったと感じている。しかし、そうした取組を知っている市民は少なく、取組自体の周知のほか、各所管、情報共有を行いながら、様々な層に知ってもらうことのできるような活動を行っていく必要があるのではないかと感じている。</p> <p>委員）環境と一口に言っても幅が広く、かなり難しい問題だと感じている。しかも今年の委員会は、一度休んでしまうと次のことが分からなくなってしまうくらい内容が濃いものであった。環境問題は次から次へと新しいものが出てくるため、これからも、より勉強を行い、委員としての意見を出していきたいと考えている。</p> <p>委員）平成18年度より施行した環境基本計画があまりにも細かく作られていて、とても素晴らしいものだと感じている。しかし、物語ごとに数値目標は設定されているが、評価シートを見ても、何が変わっているのか、ということがあまり目立たないような印象がある。また、昨年度の提言では、「ごみ減量とリサイクルを推進するために、市民・事業者・行政のパートナーシップを深めるための取り組みの強化を図るべき」という提言があったと思うが、それについても具体的な取組が行われているようには見えなかった。時期計画</p>

策定の際には、環境問題という、幅が広い問題の中でどこに焦点を絞り目標を設定するのかということを考えていただきたい。

委員) 今年の消費者まつりでは、小型家電の無料回収について、幅広い方へ知っていただけるような展示や、環境に関するクイズ等を実施した。今回、評価報告書で提言を行ったこと一つ一つを全て実施するのはとても困難だとは思いますが、検討を重ね、全ての項目を達成できるようにしていただきたい。

委員) 二酸化炭素の排出量の目標については、定量的な数値目標がないということで、次期計画策定の際には見直しを行っていただきたい。

委員) 環境学習については、次世代を背負っていく子どもたちの心を育てるような環境や仕組みを作り、他所管・団体とも連携を行い、継続的に事業を展開していただきたい。

委員) 滝川市は、素晴らしい田園風景のほか、豊富な作物などが採れる等豊かな自然にあふれているが、その地元の良さを、地元に住んでいる人間が一番分かっていないということがあるのではないか。これからの環境学習については、自然に実際に触れ合ってもらうことはもちろんのこと、滝川の自然の良さについても学んでもらえるようなプログラムを作っていく必要があると考えている。また、滝川市の環境への取組みは、ほかの市町村と比較してもかなり進んでいると感じているが、市民間へは全く浸透していないため、市民向けにどう周知等を行っていくかということを考えていく必要があるのではないかと感じている。

市長) 委員長をはじめ、環境市民委員のみなさまへ、本年度の御協力に対してお礼を申し上げます。非常にしっかりとした提言をいただいたところであるが、評価や提言をもとに、滝川市の環境施策について改めて検討を行いたい。また、リサイクル推進員の活用ということでは、昨年度も提言をいただいたところではあるが、次年度より、ごみの分別に係る収集品目の拡大のほか、ごみ処理料金の改定を行う際に、推進員のみなさまとの連絡体制を密にできるよう改善をしていきたいと考えており、環境学習については、関係所管が連携して取り組んでいくことはもちろんのこと、質の高い教育ができるような環境を構築していくことが必要だと考えている。

#### 4 閉会